

令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る  
文部科学大臣表彰の受賞について

**【発表の要旨】**

地域住民が学校経営に主体的に参画する仕組みとして、学校運営協議会制度の導入を進め、2020年に市内14校全てがコミュニティ・スクールとなり、今年度で3年目を迎えます。安代小学校は寄木小学校とともに市内で最も早く学校運営協議会制度を導入し、今年で5年目となります。

今回の表彰の理由は、学区内6つのコミュニティセンターやPTAとの連携体制が強固であり、学校運営協議会での共通理解をもとに、充実した地域学校協働活動が展開されていることが認められました。

**1 表彰名**

令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る  
文部科学大臣表彰

**2 表彰式日時**

令和5年2月3日

**3 場 所**

文部科学省 3階講堂

**4 受賞校**

八幡平市立安代小学校（校長 石川修浩 児童数 86名）

**5 取組の内容**

コミュニティセンターやPTAとの連携・協働により郷土愛を育む取組

**6 参考資料（自校による「成果・効果」の記述）**

本校の学校運営協議会制度の効果を把握するために、令和2年に文部科学省が実施した調査「学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究」の質問紙を用いて、学校運営協議会委員にアンケートを実施したところ、「実行性」「共有性」において、令和2年度の全国平均を上回った。このことから、本校の学校運営協議会制度は、協議だけで終わらずに実行できていること、そして、教育パートナー制度を中核に地域の多様な方々が参画して地域学校協働活動ができているということが考えられる。

子供たちは、学校だけではなく、地域の方々にも見守られているという安心感をもっており、現在、不登校児童はいない。今後も、学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進し、精選という視点も大事にしながら、より充実した地域学校協働活動を実践していきたい。

**【担当】**

教育総務課

社会教育指導員兼CSアドバイザー

藤嶋 茂美

電話 0195-74-2111（内線 1367）